

# 続・なくそう！ 身近な金融トラブル！ (事例紹介)

なかゆくい

財務部

1月・2月号の特集「なくそう！身近な金融トラブル」で詳しく紹介できなかった金融被害の事例を、ここではイラスト付きで紹介します。

**次は、あなたが狙われるかもしれません。取引には十分ご注意ください！**

## 事例① 代理購入型



お金を振り込むので、  
代わりに未公開株を  
購入してほしい…。

A社より突然の電話

B社は有望なので  
当社に代わって  
B社の未公開株を  
購入してほしい  
のですが…

B社の未公開株は  
特定の方しか購入  
できないように  
なっています…



つきましては  
当社より  
1000万円  
振込みますので  
750万円分を  
購入して  
いただきたい…

750万円分を  
購入すれば  
いいのか…

立て替えて  
購入しただけで  
250万円の  
もうけ…

これっておいしい  
話ね…

というわけで、B社から  
未公開株を購入



しかし

まだ1000万円が  
振り込まれて  
いない…

不安になりB社に連絡

もしも  
先日の未公開株を  
解約したいんですが…

いまさらそれは  
困りますねえ  
何なら裁判に  
訴えますよ！

あ…私の  
750万円  
が…



## ここがポイント

このようなケースでは、不審に思っ購入の解約を申し出ると「立て替えて購入なんて知らない」「裁判で訴える」といわれることも多いようです。他人の代わりに購入、というのは、絶対に避けましょう。もし、未公開株を購入してしまった後、被害に気づいた場合は、最寄りの警察に、また返金を求める場合は、消費生活センターや弁護士会に相談してください。



## 困ったときは相談を！

- 金融庁 金融サービス利用者相談室(平日10時～17時)

☎ 0570-016811

(IP電話、PHSからは03-5251-6811)

- 沖縄総合事務局 財務部金融監督課(平日9時～17時)

☎ 098-866-0095

- 消費者ホットライン

☎ 0570-064-370

- 警察庁(警察総合相談電話番号)

☎ #9110(全国共通)



## 事例② 発展型



さらにご注意を！  
最近では、こんな手口も。



### 他にもこんな例が...



- 未公開株の保有者に対して、「売買の仲介をする」と電話。その際に「未公開株のトラブルが多発している。保全制度を利用するように」とすすめ、売買価格の10%を事前に要求する。
- 「近く上場する」といわれ、未公開株を購入。その後、「知人を紹介すると手数料がもらえる」といわれ、知人を多数紹介。結果的として、ねずみ講式に被害者を増やしてしまった。
- 「外国通貨を買えば、多額の利益が得られる。その分で未公開株を」とすすめられる。

## ご用心！ひとつでも思い当たったら...

以下の8項目にひとつでも該当する場合は、詐欺的商法の可能性が高いので、取引を見合わせることをおすすめします。

- 1 まったく聞いたことのない業者から勧誘されている。(証券会社としての登録も確認できない)
- 2 買取業者、アドバイザーなどを名乗る業者から「買い取ります」などの勧誘を受けている。
- 3 以前、未公開株を購入したことがあるが、今回は、その時購入した業者とは別の業者から勧誘されている。
- 4 業者は「上場時期や上場市場が決定している」と説明するだけで、主幹事証券会社や監査法人を教えない。
- 5 業者が、「金融庁などの公的機関から、認可、許可、委託、指示などを受けている」と説明している。
- 6 買取業者から、「買取単位（また取引単位）まで買い増して下さい」と言われている。
- 7 別の業者からタイミングよく連絡があり、「その株を買い取る」とか「その株は必ず値上がりする」などと言われている。
- 8 金融庁や財務省、財務局（沖縄総合事務局含む）、証券取引等監視委員会などの公的機関や、それを連想させるような名称を使用している。